

植原悦二郎 うきはら じゅうじょう 政治家。明治十年五月十五日生野懸生れ、昭和二十七年十一月一日歿（八七一・九三）。明治四十年アメリカ・ワシントン大學卒、更にイギリスへ渡りロンドン大學大学院公二年、學位を得て四十二年歸朝。大養教小師事し、明治大學教養部臨時岩崎英祐等と木堂會を興す。大正六年衆議院議員（當選十二回）、昭和七年衆議院副議長。戦後自由黨へ参加、國務相、内相歴任。

著書、『亞米利加みやげー一名シアトル案内（附録渡米案内）』（客崎右夫共著、明治二十六年九月二十日シアトル・西北新報社活版部）、『日本民権發達史』（大正五年十一月二十三日政教社）、『新生日本と民主主義ー憲法改正論』（昭和二十五年十一月二十日、葉書店）、『何故戦争を起したか何故負けたか』（昭和二十年十一月、二十五日、一葉書店）、『國會の盲點』（昭和二十八年三月二十日東洋經濟新報社）、

『民主主義と國會と國民のありかた』（木下廣居共著、昭和二十六年二月二十五日日本民主協會）、『八十路の憶出』（昭和二十八年十一月、一日植原悦二郎回顧録刊行会編刊）等。

